



由布市 YUFU CITY COUNCIL 議会だより

No. **78**
2025年5月



表紙写真：口ノ原の桜（庄内町）

Contents

●令和7年第1回定例会		
令和7年度当初予算概要	1～2	
令和7年度当初予算質疑	3～4	
定例会概要（当初予算以外）	5	
議案質疑（当初予算以外）	6	
常任委員会報告	7～9	
●市政を問う（一般質問）	10～13	
●表紙写真の募集	13	
●各種報告	14	
●請願・陳情結果、賛否一覧、編集後記等		裏表紙

令和7年度予算が
決まりました!

未来へ持続可能な 行政運営を

みんなで進める 持続可能なまちづくり

市制施行20周年記念事業 **544万円**

湯平温泉復興
まちづくり推進事業 **6,444万円**

湯平農民研修センター解体工事、ポケットパーク整備、人道橋工事

一人ひとりの力を生かせる まちづくり

重層的支援体制
整備事業 **2,965万円**

多機関協働事業、アウトリーチ事業、参加支援事業

経済の循環から地域が潤う まちづくり

鳥獣被害
総合対策事業 **2,973万円**

イノシシ、シカ電気柵・鉄線柵補助、有害鳥獣捕獲事業等の補助

人や文化を育むまちづくり

学校給食センター調理事業
1億8,233万円

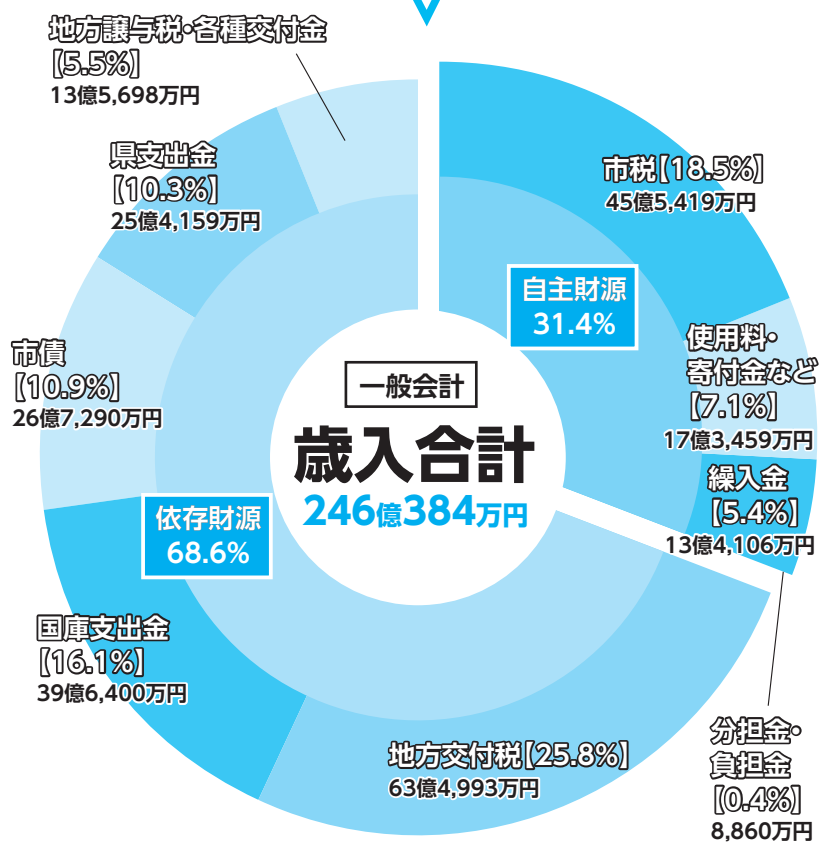
給食費無償化に伴う食材費

情報環境
整備事業 **2億6,060万円**

第2期GIGAスクールタブレット端末更新、タブレット用ネットワーク回線の整備



市に入るお金



自主財源：市の自主的な収入

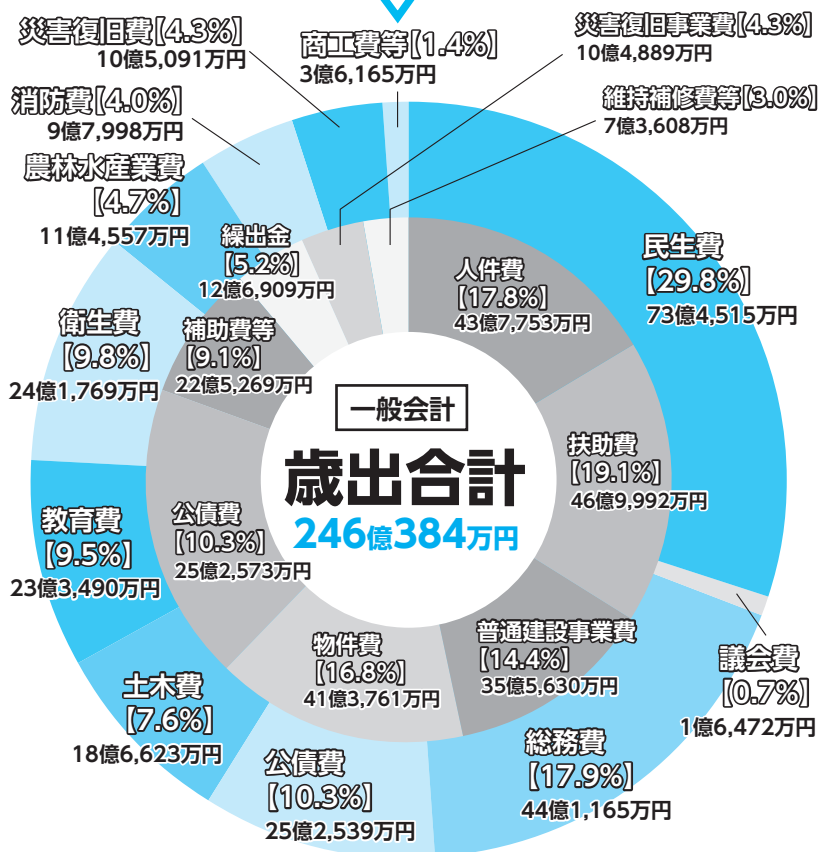
依存財源：国・県から交付されるお金

令和7年度 一般会計当初予算

246億384万円を **可決**

前年比 18億9,694万円増 ↑

使いみち



豊かな環境の中で快適な暮らしが実感できるまちづくり

ポイ捨て防止事業 679万円

ポイ捨て等の防止に関する条例施行に伴うゴミ収集業務ほか

廃棄物運搬中継施設整備事業 4億8,809万円

施設解体工事、中継施設建築工事

地域を知り、表現するまちづくり

道の駅ゆふいん整備管理事業 3,092万円

道の駅ゆふいん物産館解体工事

物価高騰緊急対応事業

おむつクーポン券配布、経営力強化支援業務資金、社会福祉施設等物価高騰対策緊急支援事業

2億2,750万円

令和7年度の各会計の予算額

(単位:万円)

会計名		令和7年度当初予算額	前年比
一般会計		246億384	18億9,694
特別会計	国民健康保険	38億1,348	△1億9,499
	介護保険	42億8,527	△1億4,364
	後期高齢者医療	6億7,746	1,536
	計	333億8,005	15億7,367
農業集落排水事業	収益的収入	8,131	0
	収益的支出	1億81	0
	資本的収入	4,360	0
	資本的支出	4,360	0
水道事業	収益的収入	8億8,121	△104
	収益的支出	8億5,811	2,109
	資本的収入	5億8,143	△2億6,259
	資本的支出	8億8,762	△2億6,455



令和7年度 当初予算質疑



一般会計予算

Q 市民税、固定資産税が増えた理由と、滞納の回収方法について説明を。

A 市民税 春闘等のベースアップが予想される。
法人市民税 経済活動の正常化を推察している。
固定資産税 太陽光発電設備や家屋の新築の増による。
滞納繰越分 督促状の発送、未納の人には催告書を発送し、最終的には差押えを行っている。

Q 湯布院庁舎等管理事業の使用料及び賃借料の内容は。また、ラックホールの駐車場問題も絡むが今後もこの料金は推移していくのか。

A JR由布院駅駐車場30台分の料金。ラックホールの駐車場等も手狭で今後も計上する予定。

Q 公共施設等総合管理計画策定事業、委託料は。

A 公共施設個別計画の見直しを、令和5年度から7年度にかけて行う。
令和37年に目標である公共施設延べ床面積を、30%削減に向けて計画の見直しを進めている。

Q 湯平共同温泉管理事業、工事の内容は。

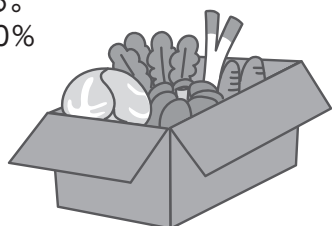
A 130度ある泉源の温度を、湯管管内に水を注入し80度以下に低下させて水中ポンプで湯揚する方式に変更。

Q みらいふるさと寄附金取扱業務の5億1,723万5千円の内訳は。

A 返礼品の代金及び送料合わせて3億3,000万円、ポータルサイト等掲載、運営などの手数料が1億7,700万円。

Q 寄付金10億に対して51.7%になる。国の基準は50%以下となっているが。

A みらいふるさと寄附金推進事業、予算見込み10億円となっている。経費が52%基金積立てが48%となっており、2%は調整分。問題はないと考えている。
返礼品の代金は30%の枠内。



Q 次世代交通実験事業。グリーンスローモビリティバスは昨年挾間地域の実験をしたが、挾間にはできないのか。

A 搭載するバッテリーの性能により勾配の多いエリアは継続的な運行は難しいという結果となっている。

Q 湯平温泉復興まちづくり推進事業の橋についての工事日程は。

A 人道橋は、5月中に設計。その後、橋梁の整備にかかる予定。難工事が想定され、2カ年の継続事業。

Q 湯布院交通渋滞対策事業、改善できたことは。

A カーナビアプリで渋滞情報を発信。1日当たり370回のアクセスがあり、渋滞回避の迂回ルートを選択をした方が、約3割の6,604件あり、一定の効果があつたと判断している。



Q 特殊詐欺防止機能付電話購入補助金、内容と実績、防犯に対する取り組みの詳細は。

A 令和6年度の実績が2月末現在で89台85万5,800円。補助制度とプラスして南署の方々と高齢者の地域サロン等での啓発活動をしたり、周知をゆふいんラヂオや市報、広報紙等で行っている。

Q 重層的支援体制について、コーディネーターと由布市緊急時入所支援事業の詳細を。

A コーディネーターは、専門的な知識を有し支援関係機関の調整や支援会議の運営を担う。由布市緊急時入所支援事業に係る夜間休日等緊急時入所支援は、障がい者等を介護されている方が急病や事故等で介護が困難となり、緊急かつ一時的に指定短期入所事業所に入所できるように、調整・対応する必要性が夜間休日に生じた場合、その役割を担う業務。

Q 民生委員・児童委員活動交付金、活動内容は。

A 任期は3年で市の単独事業。民生委員配置基準は90から280までの世帯数ごとに1人となっている。担当地区により異なるが、全体的な数値は、昨年9月末世帯数で1人当たり176世帯、そのうち見守りの必要な世帯が62世帯。

Q 高齢者生きがい対策事業、老人クラブ事業の補助金の内容を。

A 由布市老人クラブ連合会への活動促進事業を進めるためと、単位老人クラブの活動を補助するための2本立て。由布市老人クラブ連合会への補助金は3項目あり、由布市老人クラブ連合会の方が企画立案をし老人クラブの方への講演会、講習会等を開催するもの。また、健康づくりの支援事業のスポーツ大会の費用分。市労連の事務局に配置する推進委員の人員費。単位老人クラブの活動補助金の内容は、4項目あります。社会奉仕活動、道路等の清掃活動や交通安全パトロール等。生きがいを高める活動の、講演会や研修会。健康づくりの活動で、グラウンドゴルフ、ゲートボール等。その他の活動として、役員会、定例会等の補助金。



Q 地域支え合い体制づくりについて詳細を。

A 地域支え合い体制づくりとは、お茶の間サロンのこと。お茶の間サロンに登録するには、65歳以上の高齢者が5人以上集まること、サロン1回に1時間実施すること。月1回程度の開催、地域で閉じこもりの方への声かけをすること。活動を自治委員や民生委員に報告すること。サロンの実施場所は自治公民館または民家ということ。



Q 地域生活支援事業の扶助費、医療的ケア児、在宅のレスパイト事業について。

A 医療的ケア児在宅レスパイト事業は、在宅で人工呼吸器や経管栄養等の医療ケアを必要とする児童の看護や介護を行う家族の、心身及び経済的な負担軽減を図ることを目的とした事業。医療保険適用外の訪問看護サービス利用に係る経費を助成するもので、国2分の1、県4分の1の補助事業。人数は6名。1名が既に利用していて、もう1名が申請の手続きをしている。

Q 妊婦のための支援給付事業について詳細を。

A 妊婦のための支援給付事業は、令和7年度より法定化された事業。現在、出産応援給付金として妊娠届をした妊婦と、子育て応援給付金として出生児の数に応じ妊婦及び養育者を対象に給付される。金額は、妊娠届時の妊婦支援給付費認定後5万円、出産予定日の8週間前の日以降、胎児の数の届出後5万円掛ける胎児の数。

Q 予防接種推進事業、6年度のインフルエンザワクチンの接種率はどのくらいなのか。

A 令和5年度の高齢者インフルエンザの予防接種の接種者は6,363人、接種率は56.16%で今年の1月末現在の接種者数は6,211人で、接種率は55.0%。



Q 新規就農者支援事業補助金について、新規就農者を何名と考えているのか。

A 令和7年度の新規就農者支援事業補助金の対象となる新規就農者の内訳は、前年度から継続が9組10名、新規が2組2名で、合計11組12名。



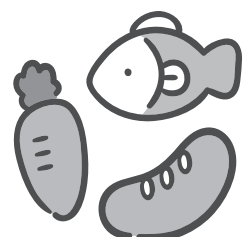
Q 学校相談体制充実事業について、業務内容の詳細を。

A 不登校など児童生徒が抱える問題の解決に向けての家庭訪問、保護者との相談対応を行い、適切な支援を行う事業。



Q 学校給食センター調理維持事業について、食材の納品は全て入札によるものか。

A 1ヵ月分使用する食材の予定数量を毎月、学校給食用物資納入登録済みの業者に知らせ、事前に金額を調査してから発注する随意契約。物価変動については肉、野菜、一般物資など1ヵ月ごとに事前に金額を調査し、1ヵ月間は同じ単価で納入する方法をとっている。



令和7年 第1回由布市議会定例会概要

令和7年第1回定例会が2月25日から3月21日までの25日間開催されました。今定例会で上程された事件として報告7件、諮問2件、承認1件、議案64件を審議し、議案は全て原案承認、可決されました。当初予算を除く概要は下記のとおりです。



【主な提出議案】

★由布市学校給食費の管理に関する条例の制定について

学校給食費について、市が徴収し、管理する公会計方式を採用すること及びその額を無償とすることについて必要な事項を定める。



★由布市議会議員及び由布市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定について

公職選挙法第143条第15項の規定に基づき、立候補者の機会均等を図るため、候補者の選挙運動に係る経費の負担を軽減することによる。



《その他の議案》

◎工事請負契約の締結について

- ・挟間小学校増築（建築主体）工事（契約金額：624,201,600円 森田建設株式会社）

◎由布市長等の給与の特例に関する条例の一部改正について

- ・令和7年4月1日から令和8年3月31日までの間に支給する給与の100分の3を減じる。

◎由布市職員の給与の特例に関する条例の一部改正について

- ・令和7年4月1日から令和8年3月31日までの間に支給する給与の100分の1を減じる。

◎由布市国民健康保険税条例の一部改正について

- ・由布市国民健康保険財政の健全化を図るため、基礎課税額等に係る所得割額、被保険者均等割額及び世帯平等割額を改正することによる。

◎市道路線認定について 15路線（挟間町）1路線（湯平）

◎令和6年度一般会計補正予算（第11号）

歳入	・入湯税	16,225千円	歳出	・臨時給付金（低所得世帯支援）	162,000千円
	・ふるさと納税	230,000千円		・有害鳥獣捕獲事業補助金	12,503千円

《農業委員会委員の任命》 ・ 令和7年3月31日をもって満了となるため。

・松田 浩二（まつだ こうじ）	（新・挟間）	・江藤 国子（えとう くにこ）	（再・湯布院）
・秋吉 一郎（あきよし いちろう）	（再・湯布院）	・佐藤誠一郎（さとう せいいちろう）	（新・庄内）
・縣 浩一郎（あがた こういちろう）	（新・湯布院）	・久保 光輝（くぼ こうき）	（新・挟間）
・佐藤 政也（さとう まさや）	（新・庄内）	・竹林 諭一（たけばやし つぐかず）	（新・庄内）
・衛藤 将明（えとう まさあき）	（新・湯布院）	・高田 英（たかだ ひでる）	（再・湯布院）
・大津 雄司（おおつ ゆうじ）	（再・挟間）		

《人権擁護委員の推薦》 ・ 令和7年6月30日をもって満了となるため

・後藤 悟（ごとう さとる）	（再・庄内）	・清水 敬（しみず たかし）	（新・挟間）
----------------	--------	----------------	--------

議案質疑

由布市学校給食の管理に関する条例について

Qこれまでの給食費の未納、滞納者の対応策はどうする。

A未納、滞納者については来年度から公会計への移行に伴い由布市の債権となり、由布市が債権者として徴収管理業務を行う為訪問請求対応だけでなく、法的措置をとる事も可能になると考えている。

Q条例制定の経緯は。

A経緯はまず給食費無償化をすでに実施している他市町村への聞き取りを実施。由布市内対象者の数や実態も含め協議してきた。

Q市民、団体等に聞き取りをしたのか。

A保護者代表、教育委員、市議会代表等で構成されている学校給食センター運営委員会に諮った。

Q給食費財源の内訳89%が一般財源だが、恒久的財源確保の担保が来ているか。

A子供達の健やかな成長を支える為恒久的予算の確保は努めていく。国も無償化について小学校を念頭に地方の実情等を踏まえた令和8年度に実現に向けた発表もあった。国の動向にも注視していく。

由布市議会及び由布市市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定について

Q選挙運動用ポスターの制作単価の上限額の算定の基準は。

A公職選挙法施行令第110条の4に国政選挙におけるポスター作成の公営についての作成単価に示されているものが基準となる。その基準で由布市独自の単価設定し、算定している。1,174円を上限単価と設定している。

Q選挙運動用ポスターの経費等、証拠書類の確認方法は。

A施行規程を作成する。候補者はポスター作成証明書を作成し、選挙管理委員会から交付された確認書とともに事業者へ提出。契約履行後に事業者から市長あてに証明書と確認書を添付した請求書が提出され、事業者に直接支払いが行われるという制度。

由布市都市公園条例の一部改正について

Q議案で帰属される予定の公園も含め全ての公園数はどの位か、管理は由布市がという解釈で良いか。

A議決をいただければ計44ヶ所となる。都市公園法の中に維持管理については由布市、地方公共団体が行うと規定されている。

Q基本的に市が管理するのは理解できるが受益者の方にはもう少し協力をお願いするなど十分検討していただきたい。

令和6年度由布市一般会計補正予算（第11号）

Qみらいふるさと寄附金推進事業2億3,000万円に対して委託料1億4,000万円、積立金9,000万円。委託料の割合が約61%となっている。国からは返礼品を含む経費は50%以下に抑える指導があるが、国の指導との関係を伺う。あわせ委託料1億4,000万円の内訳は。

A制度上通年分としてかかる経費が50%。補正額で経費割合の調整となっていない。委託料の補正額1億4,000万円の内訳は返礼金が約30%の6,900万円掲載料、業務委託料又配送料が約20%で4,600万円、今後の見込みによる経費として2,500万円。

Q由布市に住みたい事業これまで何回か補正を組みながら実施してきたが、2,311万円もの予算減額は想像より見込みが甘かったと思うが、どうなのか。

A見込を年度当初に立て、前年並みかそれ以上移住に来ていただきたいと予算化しているが、県の補助金の精算スケジュールが前倒しになったため、様々な要素を整理した。

Q合併処理浄化槽設置推進事業となっているが、設置替え等の事を市から案内、アピールはどのように行っているのか。

A設置替えがくみとり式。単独浄化槽はトイレだけの浄化槽。この2種類の設置替えで補助金を受けられる。今後設置替えについては自己負担も伴うので制度をよりPRして利用していただきたい。

Q新規就農事業補助金1,188万6千円の減額補正の理由と新規就農者負担軽減対策事業補助金502万2千円の減額補正の理由は。

A1,188万6千円は令和6年度に新規就農者予定を5名見込んでいたが、実際は2名で、3名の減。502万2千円の減額理由は、当初8名の方へ支給予定が6名が対象外となったため。

令和6年度由布市介護保険特別会計補正予算(第3号)

Q介護サービス等諸費が4,669万3千円減額の理由は。

A令和6年4月に介護報酬改定で居宅サービス費の単価が増加する事が見込まれていたが、結果として、想定した程給付費の増額に至らず今回の減額補正となった。



総務常任委員会

挾間小学校の校舎増築が決まりました

挾間地域の児童数増加で教室が不足しており、挾間小学校の校舎を増築するために令和7年2月6日に要件設定型一般競争入札を実施し「森田建設株式会社」が消費税を含む6億2,420万1,600円で落札。2月13日付で仮契約を締結したものを本契約するために議決を求めるもの。委員会からは、計画通り工事が進められるよう適切な施工管理がされるよう、また、子供たちが学ぶ環境下で安全面に配慮し、工事期間中は騒音等が授業に影響を与えないよう配慮を求める意見を付しました。

日出町の施設が利用できるようになりました

日出町の「交流ひろばHiCaLi」「黒岩公園」「糸ヶ浜海浜公園（運動場に限る）」「川崎運動公園」の4施設を由布市民が利用できるように議決を求めるもの。

委員会からは、住民の利便性が向上し、地域間の協力関係が強化されることを期待する。また、施設の利用に際して適切な運営がなされるよう配慮することが重要であると意見を付しました。

当初予算特別委員会分科会報告

（1）市制施行20周年記念事業について

記念式典や記念講演、記念フェスティバルの開催に伴う諸経費及びフェスティバル時に依頼する謝金が主な事業の予算であると説明を受けた。

分科会からは、市民にとって記憶に残るような記念事業となるように取り組んで欲しいとの意見が出ました。

（2）自治会活動促進事業について

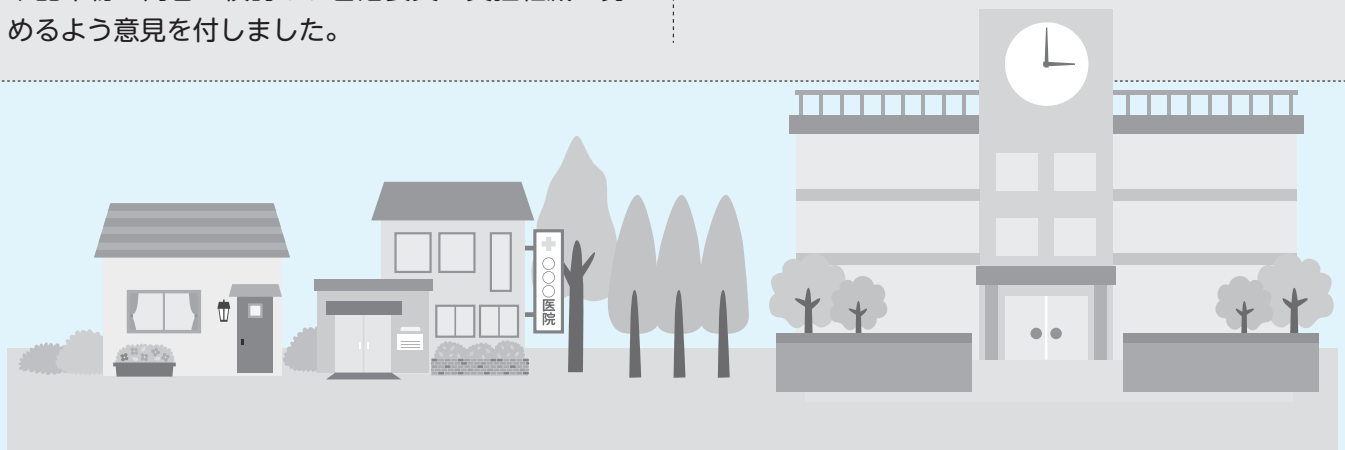
自治委員を選出できない事情がある地区の行政連絡員に対する謝金等の予算についてであると説明を受けた。

分科会からは、各自治区の状況や自治委員の選出方法、困りごとを把握し、市民に寄り添いながら解決に向けて取り組むよう対応を求める。また、回覧や配布物の内容を検討し、自治委員の負担軽減に努めるよう意見を付しました。

（3）地域活力づくり総合事業について

向之原駅前広場を整備する予算で、本事業は、県道向之原停車場線の改良に併せて実施するもので、工事請負費は駅前広場をロータリー状に整備し、歩行者の移動を円滑にするとともに、交通状況の改善を目指すとの説明を受けた。

分科会からは、本整備事業は地域活力の向上を目指しているが、事業効果を最大限に発揮するためには、関係機関との協議や地域住民、駅利用者との積極的な意見交換を通じて、広場の利用方法や交通動線の改善について慎重に検討をすること。また、運用開始後の混乱を避けるため、事前に十分な周知活動を実施するよう意見を付しました。



教育民生常任委員会

由布市学校給食費の管理に関する条例の制定

学校給食費について、市が徴収し管理する公会計方式を採用すること、及びその額を無償とすることについて必要な事項を定めるものです。

- ①財源確保については国の動向も注視しながら調査研究を続けていくこと。
 - ②安全安心な給食の提供と地産地消のさらなる推進を図ること。
 - ③これまでの学校給食費未収分の取扱いについて公平性の観点からも引き続き回収に努めること。
- 以上の意見を付しました。



由布市川西児童体育館条例の廃止について

由布市川西児童体育館を廃止することに伴い、由布市議会の議決に付すべき契約及び重要な公の施設の廃止に関する条例の附則にて定められている「児童体育館」を削る改正を行うものです。

由布市国民健康保険税条例の一部改正について

国民健康保険の健全化を図るため国民健康保険税の基礎課税額等に係る所得割額、被保険者均等割額を改正するものです。

由布市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について

特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業ならびに特定子ども・子育て支援施策等の運営に関する基準の一部を改正するものです。

由布市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

児童福祉施設の設備及び運営に関する基準等の一部を改正するものです。

由布市挟間健康文化センター条例の一部改正について

指定納付受託者制度により社会教育施設使用料の支払方法にキャッシュレス決済を導入することに伴い所要の改正を行うものです。

令和6年度由布市一般会計補正予算(第10号)

物価高騰緊急対応事業（給付金）891万2千円の増額は令和6年度住民税非課税世帯に対して給付金を支給するためのシステム改修費等を計上。

令和6年度由布市一般会計補正予算（第11号）

歳出の主なものとして、3款1項1目物価高騰緊急対応事業（給付金）19節1億6,200万の増額は非課税世帯給付金として1世帯3万円の5,100世帯分を計上。

当初予算特別委員会分科会報告

(1) 重層的支援体制整備事業

この事業に係る予算として「重層的支援体制整備事業」が付記されている12の事業について、4課にわたり計上されています。福祉課が核となり各課各制度間の風通しを良くし、重層的支援会議の関係を「つなぐシート」で全庁運用、世代・属性を超えて交流できる場や居場所の整備などによって推進を図っていくとの説明を受けました。由布市では令和7年度から本格実施となります。支援の対象となる人を孤立させることのないようPRや働きかけを十分に行い、かつ綿密な庁内連携に努めるよう意見を付しました。

(2) 学校給食センター管理事業

学校給食センター調理事業1億8,233万4千円は、学校給食無償化への移行に伴う賄材料費です。無償化により質・量が保たれるのかとの質疑については、今後の物価上昇も鑑みた単価により積算している、質・量に加え、栄養価も保ち、予算内で工夫を図っていくとのこと。又、これまでの未収分の取扱いについては、今後も引き続き回収に努め、法的措置も可能になる旨の説明を受けました。

産業建設常任委員会

由布市都市公園条例の一部改正について

都市計画法に係る開発により設置された挟間地域の公園5か所について、由布市に帰属する都市公園として追加するものです。

市道路線（下市見取2号線）の認定について

都市計画法に基づき由布市に帰属した道路を市道として管理するものです。

以下、同様の案件につき、路線名のみ記載。

市道路線名 鶴田3号線・上市立烏帽子線・北方宮田3号線・赤野北口原線・赤野東原線

市道路線（向原屋敷線）の認定について

挟間町環境保全条例に基づき由布市に帰属した道路を市道として管理するものです。

以下、同様の案件につき、路線名のみ記載。

市道路線名 上市城畑線2号線・上市城畑3号線・下市上大6号線・下市見取3号線・下市下嶋線・古野本村南4号線・古野北屋敷ツル線・赤野南口原線

市道路線 湯平地区ふれあい公園線の認定について

公共用地である公園を終点とした由布市所有の公衆用道路を市道として管理するものです。



令和6年度由布市一般会計補正予算（第11号）

歳出の主なものとして、合併処理浄化槽設置推進事業の補助金3,473万4千円の減額は申請実績により減額、農業用施設災害復旧費の委託料1億1,219万9千円は台風10号被災か所復旧に係る測量設計費の増額。公共土木施設災害復旧費4億9,102万7千円の減額は台風10号により被災した河川の復旧を令和7年度の渇水期に行うため。

委員からは合併処理浄化槽設置の申請期限の延長などの再検討をしていただきたいとの意見が出ました。

次に農業委員会費について、委員には会議に積極的に参加して情報共有を図り、研鑽を更に深めていただきたいとの意見が出ました。

次に台風10号災害において被災者含む関係者との協議を密にし早期の復旧に努めていただきたいとの意見が出ました。

令和6年度由布市農業集落排水事業特別会計補正予算(第5号)

歳入歳出予算から241万円を減額し、総額9,878万7千円とする。また、公営企業会計に移行するため、基金残高を受け入れ、予備費を344万9千円増額する。

令和6年度由布市水道事業会計補正予算（第5号）

	補 正 額	総 額
収益的支出	△1,981万3千円	8億3,464万4千円
資本的収入	△3,930万円	9億3,157万3千円
資本的支出	△4,695万円	12億4,077万円

* 入札および実績に伴う減額です。

当初予算特別委員会分科会報告

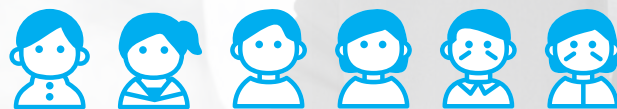
商工振興活性化事業（就労機会促進業務委託料）については、ゆふマッチボックスに係る経費です。今年度の実績は登録事業者82件、登録求職者672名、マッチング件数517件、長期雇用者5名（令和7年2月末時点）事業者と雇用の多様な働き方でのマッチングができています。委員からは商業分野、農業分野など活用の裾野を今後は広げていただきたいとの意見が出ました。



ここが聞きたい！

一般質問

市政を問う



●吉村 益則 議員	「スポーツセンターについて」 他
●加藤 幸雄 議員	「旧公民館跡地の工事について」 他
●志賀 輝和 議員	「福祉について」 他
●坂本 光広 議員	「タブレットの更新計画等について」 他
●加藤 裕三 議員	「農業・農村を守り食糧自給の確立について」 他
●鷲野 弘一 議員	「ゴミの減量化・運送計画について」
●田中 廣幸 議員	「挟間地域の小・中学校のプレハブ校舎建設について」 他
●湊野けさ子 議員	「由布市の認知症の早期発見、早期介入の推進施策は」 他
●佐藤 孝昭 議員	「由布市の農業政策・環境について」 他
●佐藤 郁夫 議員	「庄内地域の定住促進策の早期実現を」 他
●首藤 善友 議員	「給食費の無償化について」 他
●太田洋一郎 議員	「新たな財源の検討はされているか」
●高田 龍也 議員	「由布市の財政について」 他



「スポーツセンターについて」 他

吉村 益則 議員

Q スポーツセンターについて。

A 令和7年度に市民向けの機能を取り入れるなどを踏まえたスポーツセンターの在り方を検討し市場調査などを行いニーズに答える形で今後の方向性を探る。

Q 湯平復旧復興について。

A 緊急避難所は令和7年7月完成を目指す。花合野川左岸避難路の整備を行い、その後農民研修センターを解体しポケットパーク整備、遊歩道の照明工事、人道橋整備工事を令和8年度にかけて行う。

Q 宮川の氾濫について。

A 早めの避難を呼びかける対応を行った。国土交通省や県へ河川改修を直接御願しているが順次下流（川西）から改修工事を行っていく。早急に行う事を国や県に伝えているが今後も協議と研究を重ね治山治水に取り組む。

※その他、由布市の畜産振興、公共施設改修工事年次計画について伺いました。



「旧公民館跡地の工事について」 他

加藤 幸雄 議員

Q 旧公民館跡地のバスロータリー等の工事はなぜ公共工事で行うのか。今までにこういう例は何件ありますか。

A バスロータリーの整備により、由布院駅周辺における公共交通機関の運行の円滑化を図るため、国や自治体が行う社会資本整備を目的とした公共工事と位置付けている。由布市では今と同じ事例はない。都市部では官民連携となった整備を行っている事例が多々あり、設計者から今回のバスロータリーのデザイン・コンセプト等に東京駅周辺のバスロータリーを参考にしていると聞いている。

Q 令和7年度予算について。生徒の給食費は無料になっていますか。

A 「子育て応援日本一」を目指す中で、子育て世帯の経済的負担軽減策として、市内の公立幼稚園、小中学校の給食費を無償にするため約1億8千万円の事業費を当初予算に計上している。また、認可保育所等に通う4、5歳児の給食費の補助として、約1,400万円を予算計上している。



「福祉について」 他

志賀 輝和 議員

Q 福祉について。避難行動要支援者の個別避難計画書の作成状況を問う。

A 令和7年1月末時点、要介護高齢者対象者は566名内254名、障がい者・児の対象者は219名内51名が作成済み。個別避難計画全体では対象者999名内366名(36.6%)が作成済み。6割以上の対象者が未作成であることを重く受け止め、残りの作成作業に努めていく。

Q 児童発達支援センター設置の取り組み状況を問う。

A 現在、設置意向のある2つの事業所と協議中。8年度末までの設置に向け取り組んでいる。

Q 災害対策について。土砂等小規模堆積行為の規制条例の制定を問う。

A 「大分県宅地造成及び特定盛り土規制法」により由布市全域が規制対象となるので、施行後の状況を注視し、条例の必要性を判断する。

Q 三船自治区の盛り土による災害対策の進捗状況を問う。

A 市として、定期的な現地確認と事業者への進捗確認を行いつつ、取り決め通りに完成するよう監視と指導を行う。



「タブレットの更新計画等について」 他

坂本 光広 議員

Q 令和2年に市内小中学校に1人1台のタブレットが整備されたが、GIGAスクール構想第2期において、タブレットの更新計画等はどのように進んでいますか。また、国からの補助等は？

A 令和7年度から第2期のGIGAスクール構想の取組を計画しており、第1期で導入したタブレット端末の更新と通信ネットワーク環境の整備などを主に考えている。タブレット端末の更新計画については、児童生徒用2,597台、予備機208台、教師用295台、合計3,100台分を令和7年度に整備する。国からの補助金は1台当たり5万5千円の補助基準額に3分の2の補助率を掛け、予備機の数を含む児童生徒数の2,805台で、令和7年度の歳入で1億285万円を予定しており、タブレット端末の更新に係る費用からこの補助金を差し引いた残りの8,981万5千円については市が負担する。

※その他、若者定住住宅、物価高騰対策について質問しました。



「農業・農村を守り食糧自給の確立について」 他

加藤 裕三 議員

Q 農業・農村を守り食糧自給の確立について。

A 食糧自給の確立には、高齢化や後継者不足が深刻で、いかに担い手を確保し、効率的で安定的な農業の実現が重要。市として、新規就農者の確保、各種補助制度等の整備に努めている。現在、「地域計画」を策定中。国、県と連携し持続可能な由布市農業の支援に努める。

Q ゆふの丘プラザについて

A 令和2年度以降、指定管理者の選定に至っていない。今後は民間提案制度を調査、研究し、施設の魅力につながるよう検討する。

※他に、「市道認定の基準について」「ジュニアリーダースクラブの質問について」



「ゴミの減量化・運送計画について」

鷲野 弘一 議員

Q 新環境センター（令和9年10月運用開始）が大分市上戸次に6市共同で整備を進めているが、由布市は現在の福宗環境センターより運搬距離が遠くなる対策としてゴミの減量化・挟間町同様に建設中のごみ集荷センターより1日約30tのごみを長期的に考え経費を抑えた運送計画について問う。

A （市長）燃えるごみを減らすため再利用が可能な新聞紙や雑誌、チラシなどの紙類、再資源化できる資源プラ（プラスチック・ペットボトル・トレイ）を可燃物ではなく資源ごみとして回収にだしていただきたい。生ごみ処理機の購入に対し購入金額の3分の2、3万円を上限とする助成金を設けています。

A （環境課長）中継施設は、旧し尿処理場、取り壊しが本年8月に終了し令和8年12月に本体工事終了、運用試験を行い令和9年3月に完成予定といたします。

輸送に関してはフックロール車4台、コンテナ8台を導入する予定です。



「挟間地域の小・中学校のプレハブ校舎建設について」 他

田中 廣幸 議員

Q 挟間地域の小・中学校のプレハブ校舎建設について、幾つの教室を計画し建設費はどれほどかかり、今後教室不足の解消はできるか。

A 挟間中学校の規模は教室8室分、令和8年3月完成予定、建設費は10年と一月分のリース代（維持管理費用含む）約4億8千万円。リース期間満了後は市に無償譲渡してもらう。耐用年数は27年と、しっかりした建物である。今後しばらくは教室不足の問題は解消できると考えている。由布川小学校については、令和9年3月の完成を目指す。3から4教室程度の増築で、挟間中学校と同様の10年リースであり、来年度、設計を行う。

※他に、「災害復旧を行った場所が大雨のたび同じ場所が被害を受けているのはなぜか」「国道210号線の交通渋滞の解消のためバイパスの計画があったと思うが」等質問しました。



「由布市の認知症の早期発見、早期介入の推進施策は」 他

淵野 けさ子 議員

Q 由布市の認知症の早期発見、早期介入の推進施策は。

A 認知症の人が尊厳を持ち希望を抱いて生活を送れるよう、地域で支え合いながら共生できる町づくりを推進していく為、第10期介護保険事業計画に認知症施策推進基本計画を盛り込んで令和8年度中に作成する予定です。

Q 児童発達支援センターについて。

A 設置に際しては嘱託医、児童指導員及び保育士等の人員基準、施設設備等の基準要件を満たす事が最大の課題です。県からの指定です。

Q 学校のAED設置について。

A 現在市内の小中学校ではAEDを1台ずつ設置しています。設置台数を増やして欲しいとの事ですが、規模の大きな学校では効果的な場所に複数台設置する必要があると思われます。今後検討してまいります。

Q 「由布市版おくやみコーナー」について。

A 市民課に「おくやみコーナー」を設置していますが、今後も市民の利便性と事務の正確性を図り、窓口サービスの提供につとめてまいります。



「由布市の農業政策・環境について」 他

佐藤 孝昭 議員

Q 由布市内の米も買取業者が高値で売買されています。一方で米や野菜の高騰で消費者の生活を圧迫しています。それを踏まえた由布市の農業政策は。

A 自治体としては生産力UPや新規支援の方策以外は国や県に連携していく。

Q 任期満了での農業委員会が定数を満たさず再募集していた。農業委員会の役割や見識も重大になっているが非農家でも選考要件になっている。なり手不足状態をこれまでの研修等の体制で担っていけるのか。また、これまで農地を守る事を優先してきているようだが、特に庄内町の3種農地などは農地転用させ人口減少や少子化対策を優先させるべきでは。

A 農地を守るという農業委員会の立場も分かるが、その場所の適地かどうか、住宅地として3種農地であれば転用も可能だという今までの流れに即し妥当か判断をすべきだと考えている。

※他に、「税や料の滞納整理・差押について」「由布市の入院施設が無くなっている現状について」「由布市施行20周年事業について」等質問しました。



「庄内地域の定住促進策の早期実現を」 他

佐藤 郁夫 議員

Q 庄内地域の定住促進策の早期実現を。

A 若者定住住宅推進事業は、住宅地造成に係る設計委託業務の業者を選定し、住宅地造成設計は順調に進行しており、各工程において必要な作業は着実に進められている。今後は地域住民への説明会も計画し、造成設計の内容について情報提供を行うことにしている。

Q 庄内町小挟間新井路の災害復旧対策について。

A 現場条件が悪く、被災規模が大きいことから大規模災害時の簡素化査定に切り替え、国から査定決定を受けている。簡素化査定では工事発注できないので早急に計画変更を行い工法確認協議等をして、農業用水確保のため対応する。

Q 挟間町小平井路の災害復旧対策について。

A 被災直後より、通水確保を目指し、何度も現地調査の実施と復旧方法など協議を重ねてきた。国の簡易査定を受け、計画変更のため詳細設計を行って復旧工事に向けて対応を進めている。

※他に、第3次総合計画に「地域計画の策定」を質問しました。



「給食費の無償化について」 他

首藤 善友 議員

1. 給食費の無償化について（要旨のみ）
2. 日英の共同訓練について（紙面都合上、除く）
3. 亀の井バスから来年度委託辞退
以上の3点については、3点目は事前通告してないので取下げ。1、2点のみ。

Q 臼杵市では4月から学校給食を無償に言う。由布市では、市民の方々から5670筆の署名が寄せられている。実現していく具体的な進捗状況を答えていただきたい。

A 子育て応援日本一を目指す中で、子育て世帯の経済的負担軽減策として市内の公立幼稚園、小学校、中学校の学校給食費を無償化するため、給食食材費として要する約1億8000万円を当初予算に計上。また、公立幼稚園の給食無償化に伴いまして、認可保育所に通う4歳、5歳児の給食費の補助として、公立幼稚園と同じようにするために約1400万円を予算計上した。



「新たな財源の検討はされているか」

太田 洋一郎 議員

Q 全国11の自治体が導入をしている宿泊税だが、由布市も考えはどうか。また、新たな財源として検討はされているか。

A 令和6年1月に新たな財源検討委員会から、宿泊税の導入について議論形成を早急に開始するよう答申があった。由布市としては宿泊税の導入を進める中で、入湯税と宿泊税の特別徴収義務者や使途を明確にしていける必要があると考えており、引き続き検討を進めたい。

Q 入湯税との兼ね合い等調整が難しい部分はあると思うが、財源確保は施策を進める上で非常に重要と考える。早急に検討をして欲しい。

A 宿泊税の導入には重大な関心を持っている。入湯税と同様に同じ目的税であるので、目的がかぶることから上手く整理する必要はあるが、熱海市では両立していると聞く。参考にしながら進めたい。

※目的税とは、特定の目的のために課される税で使途が定められています。



「由布市の財政について」 他

高田 龍也 議員

Q 由布市の財政について。湯布院公民館跡地整備完了後の利用料について亀の井バスとの協議進捗状況は。

A 亀の井バスが市の土地を多く使用するため市が賃借料を頂く、亀の井バスがバスロータリーを管理し他のバス会社への利用料は亀の井バスが代表として賃借料を徴収すると考えています。市としては他のバス会社との利用料交渉は考えていない。

Q 何故、交渉をしないのか不透明であり、市民への説明が難しい今後も質問をします。

Q 由布市の農政について。10ha以上の森林伐採の無許可伐採件数は、森林伐採後の災害リスク評価の有無について。

A 7件有り顛末書が提出されている、由布市森林整備計画・森林法を厳守で対応している。

Q 森林伐採後の災害リスク低減のためにも新たな条例を作れないか。

A 関係法令との整合性を十分に検討し今後研究を進めていかなければならないと思っています。

「由布市議会だより」の表紙写真も募集中！

年4回（5月・8月・11月・2月）市内の全世帯に届けられる「由布市議会だより」表紙をあなたの写真で飾ってみませんか？

募集する写真

「由布市」をテーマとした、人物、四季折々の風景、お祭り、地域行事などの写真。

応募方法

市議会ホームページ、議会だよりのページにある受付フォームに沿って必要事項を入力し、応募することができます。

応募締切日

次回、8月発刊号の表紙写真
応募の締切日は
令和7年7月10日です。

※応募条件、応募上の注意点、
選考方法等の詳細については
「募集要領」をご覧ください。



（市議会HPへのリンク）

応募
フォーム、
募集要領
はこちらに
あつては

大分県後期高齢者医療広域連合議会

報告

令和7年第1回大分県後期高齢者医療広域連合議会定例会

日 時／令和7年1月27日 午後1時30分

会 期／1日間

場 所／大分市(大分県医師会館6階研修室Ⅱ)

出 席／25名(1名欠席)

事件及び審議結果

○令和7年度大分県後期高齢者医療広域連合一般会計予算について

歳入歳出予算の総額を11億5千万円とするもの。
 歳入は、構成市町村からの事務負担金を10億3,273万4千円、財政調整基金からの繰入金金を1億1,693万7千円など。
 歳出は、総務費を3億1,957万5千円など。

○令和7年度大分県後期高齢者医療広域連合特別会計予算について

歳入歳出予算の総額を2,301億200万円とするもの。
 歳入は、市町村支出金を408億7,169万円など。
 歳出は、保険給付費2,272億8,110万3千円など。

○大分県後期高齢者医療広域連合副広域連合長の選任任期満了に伴い、日野康志(九重町長)を選任するもの。

○大分県後期高齢者医療広域連合議会個人情報保護条例の一部改正

刑法等の一部改正に伴い、「懲役」を「拘禁刑」とするもの。

○大分県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療に関する条例の一部改正

均等割軽減の所得判定基準を引き上げるもの等。

上記の議案など全9件が上程され、すべて賛成多数で可決されました

大分県後期高齢者医療広域連合議会議員 洲野 けさ子

議員派遣に伴う研修

報告

研修名 第20回全国地方議員交流研修会

日 時 令和7年1月28日(火)～1月30日(木)

場 所 沖縄県那覇市琉球新報ホール、パレット市民劇場

研修の要旨及び活用

これまで世界を支配してきた「先進国」が衰退し、抑圧されてきたグローバルサウスの国々に世界の経済と政治の重心が移っている。又戦争の終結は見えず、台湾有事も危惧されている。世界の格差は拡大し飢餓人口、難民が増加し、戦争、貧困をなくすため日本のとるべき道が問われている。一方、異常な円安、物価高のなかで国民生活や経営は圧迫されている。財政難を理由に社会保障の後退が進み、地域経済は厳しく農山村は存続の淵にいられているなど問題提起された。

第2分科会の「農業・農村を守り、食糧自給を確立するために」では、多くの自治体が人手不足や高齢化問題が深刻、さらに耕作放棄地や有害鳥獣問題など意見が出された。こうした状況に対し農業者支援、地域循環型農業への転換、有機農業の推進など、各自治体の取り組みが報告された。特に、後継者の育成や財政面の支援など国や県への働きかけを行うとともに、これまで以上の自治体独自支援について調査、研究が必要と感じた研修でした。

加藤 裕三

日 時 令和7年1月31日(金)午前10時から午後4時30分

場 所 東京都新宿区西新宿 リファレンス大京ビル

研修内容 財政基礎(歳出編)

- ・目的別歳出と性質別歳出
- ・在世の全体像から考える観点
- 健全財政の為の課題
- ・財政破綻の足音を察知する
- ・健全性を見るポイント

研修成果の活用

今回の研修は決算カードを基に様々な事例をあげ注意点、改善点などを示し、基準財政基準額などの各数値をグラフで示し「見える化」する事で理解を深めることが出来た事からも、この様に実践的な比較検討を実施して行く必要があり、財政調整基金、減債基金、特定目的基金などの項目と連動させた指標を作成し財政健全化への判断材料として行かなければならない。

人口減少社会を迎えている事を認識し、現実を見つめた取り組みを行く必要がある事を再認識できた研修となった。

吉村 益則

令和7年第1回定例会で審査した請願・陳情の結果

区分	件名	代表提出者	結果
請願1	「上津々良川の早期復旧および土砂災害防止に関する条例制定」に関する請願書	上津々良川流域防災協議会 会長 麻生 源吉	趣旨採択

賛否一覧表 [令和7年第1回定例会]

※○=賛成、●=反対、除=除斥 議長（甲斐裕一）は採決に加わらない。
※その他の上程された議案については、全員一致で認定・承認・同意・可決した。

議案名	議決結果	賛成	反対	甲斐裕一	佐藤孝昭	田中真理子	佐藤人己	洲野けさ子	佐藤郁夫	長谷川建策	鷲野弘一	加藤幸雄	太田洋一郎	平松恵美男	加藤裕三	田中廣幸	吉村益則	坂本光広	高田龍也	志賀輝和	首藤善友
議案15 由布市学校給食費の管理に関する条例	原案可決	14	2	—	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○	欠
議案16 由布市議会議員及び由布市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定について	原案可決	15	1	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	欠
議案22 由布市職員の給与の特例に関する条例の一部改正について	原案可決	15	1	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	欠

議員は公職選挙法に基づき以下の行為は禁止されております。

- 地域の行事やスポーツ大会への寄附や差し入れ
- お祭りへの寄附や差し入れ
- お中元やお歳暮
- 年賀状や暑中見舞いなど時候の挨拶
- 病気見舞い
- 葬式の花輪や供花
- 本人が出席しない場合の結婚祝や香典
- 初盆のお供えやご仏前

市民の皆様のご理解を
よろしくお願いいたします。

編集後記



5月に入り由布市内では、米の作付けが始まっています。昨年は、全国的に「お米」の供給が足りず、小売価格も高止まりの状態です。農家では、直接米の買い取りに業者が高値で購入しています。農家にとっては、思いがけない米の価格ですが、近年の農機具や光熱水費、出荷資材の高騰でこのコメの価格が消費者、農家にとって適正価格なのか考えさせられます。市内では今年、近年の台風や大雨の災害で農作物の作付けができない農地が多くあります。市としても復旧を急いでいますが、「力およばず」です。農家の生きがいを奪う災害は、苦しいです。

田中 廣幸

由布市議会ホームページ

由布市議会に関する情報を
随時お届けします！



議会広報 編集特別 委員会

委員長
志賀 輝和

副委員長
高田 龍也

委員
田中真理子
太田洋一郎
坂本 光広

洲野けさ子
加藤 裕三
加藤 幸雄
田中 廣幸

次の由布市議会は6月12日(木)に開会予定です(令和7年第2回定例会)